2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名	akippa株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	627A	URL	https://akippa.co.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長CEO	（氏名）	金谷　元気
問合せ先責任者	（役職名） 取締役 CFO	（氏名）	西野　将規　　(TEL) 06(4393)8425
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：有　　（機関投資家・アナリスト向け、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	3,279	―	281	―	288	―	244	―
2025年12月期第３四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	47.50	43.03
2025年12月期第３四半期	―	―

（注）１．当社は2025年12月期第３四半期において、四半期財務諸表を作成していないため、2025年12月期第３四半期の数値及び2026年12月期第３四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
２．潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、当社株式は2026年９月18日に東京証券取引所スタンダード市場に上場したため、新規上場日から当第３四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,682	967	57.5
2025年12月期	1,050	524	49.9

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　967百万円　　2025年12月期　524百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2026年12月期の業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,300	12.3	340	69.1	341	67.0	302	35.5	55.71

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
２．2026年12月期（予想）の１株当たり当期純利益は、公募株式数（378,000株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	6,262,140株	2025年12月期	4,117,038株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	ー株	2025年12月期	ー株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	5,151,283株	2025年12月期３Ｑ	4,117,038株

（注）2026年４月27日付で、Ａ種優先株主、Ｂ種優先株主、Ｃ種優先株主及びＤ種優先株主の株式取得請求権の行使を受けたことにより、全てのＡ種優先株式、Ｂ種優先株式、Ｃ種優先株式及びＤ種優先株式を自己株式として取得し、対価として当該Ａ種優先株主、Ｂ種優先株主、Ｃ種優先株主及びＤ種優先株主にＡ種優先株式、Ｂ種優先株式、Ｃ種優先株式及びＤ種優先株式１株につき普通株式１株を交付しております。また、2026年４月28日開催の取締役会決議により2026年５月13日付で当該Ａ種優先株式、Ｂ種優先株式、Ｃ種優先株式及びＤ種優先株式の全てを消却しております。

※　添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. ３「１．経営成績等の概況（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手について）

当社は、2026年11月10日（火）に機関投資家、アナリスト及び個人投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会の資料は、TDnetで決算短信と同日に開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期累計期間の財政状態の概況 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 6
（継続企業の前提に関する注記） …… 6
（セグメント情報等の注記） …… 6
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 6

１．経営成績等の概況

（１）当四半期累計期間の経営成績の概況

当第３四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益が総じて高い水準で推移するなか、継続的な賃上げ等による雇用・所得環境の改善を背景に、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。

しかしながら、長期化する地政学的リスクに加え、国内外の金融政策の変化に伴う為替相場の変動、物価やガソリン価格の高止まりが実質所得や消費者マインドに与える影響、さらには海外景気の下振れ懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

国土交通省『自動車駐車場年報』の統計資料によると、2024年度末の自動車保有台数約7,861万台に対し、月極や住宅の車庫を除いた駐車場は約568万台、自動車１万台に対する駐車場の割合は723台と公表されています。このような状況は改善傾向であるものの、日本で保有される自動車数に対して一時利用駐車場の数が不足しているという構造問題が発生しております。

このような情勢の中、当社は、「“なくてはならぬ”サービスをつくり、みんなの「こまった！」をなくす。その積み重ねで世界をよりよくする。」をパーパス(存在意義)とし、「人々がリアルで会うときの困りごとを、世界中で解決する。」をミッション(果たすべき使命)と定め、「世界一のモビリティプラットフォームをつくる。」をビジョン（中長期で目指す姿）に掲げ事業を運営しております。

その第一歩として、当社は、月極駐車場や個人宅等にある駐車場の空きスペースを、スマートフォン等を通じて、誰もが、簡単に駐車場として貸し出せ、また、駐車場を予約して利用することができるマーケットプレイス「アキッパ」(以下「本サービス」といいます。)のさらなる成長に引き続き取り組んでまいりました。

本サービスにおいて、駐車場の利用ニーズは着実に伸びており、当第３四半期累計期間における予約数（注１）は292.1万件（前年同期比11.0%増）、利用UU数（注２）は90.9万人（前年同期比12.3%増）と堅調に推移しております。

2026年９月における掲載駐車場数（注３）は67,076台（前年同月比20.9%増）と堅調に推移いたしました。

内訳として、自社営業及びパートナー開拓による掲載駐車場数は、2026年６月より開始した不動産管理会社とのシステム連携（当該会社が管理する月極駐車場の空きスペースを当社システムへ自動掲載する仕組み）の進捗等により、61,451台（前年同月比17.5%増）となりました。また、オーナーモード（注４）による掲載駐車場数につきましても、新規登録が順調に進んだことに加え、高い掲載継続率を維持したことから、5,624台（前年同月比79.2%増）と大幅に拡大いたしました。あわせて、2026年９月にはドライバーの信頼情報や違反状況に応じた警告を表示する安心・安全機能を導入し、オーナーが安心して駐車場を貸し出せる環境整備を推進いたしました。

業績面におきましては、台風等の悪天候に伴う大型イベントの一部中止による影響が生じたものの、高単価エリアの新規開拓に伴う台あたり売上高の向上や、イベント会場周辺における駐車場売上の増加によって売上高及び売上総利益が拡大いたしました。また、販売費及び一般管理費につきましては固定費の割合が高く、売上高の増加に対して増加幅が抑制されたことから、利益幅が大きく拡大いたしました。

この結果、当第３四半期累計期間の業績は、売上高は3,279,495千円、営業利益は281,635千円、経常利益は288,020千円、四半期純利益は244,696千円となりました。

なお、当社はアキッパ事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（注１）予約数とは、本サービスにおいて、対象期間内に予約が完了した予約のうち、キャンセルされた予約も含めて、予約完了日ごとに件数を集計した数をいう。

（注２）利用UU数とは、当該期間に駐車場を利用し支払いを行ったユーザー数のうち、重複を除いた数をいう。

（注３）掲載駐車場数とは、本サービスに掲載され予約可能なステータスにある駐車場の月平均の台数をいう。

（注４）オーナーモードとは、オーナー自らがアプリ上でオーナー登録及び駐車場情報の登録や貸出スケジュールの管理を行える仕組みをいう。

（２）当四半期累計期間の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第３四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末と比べ591,200千円増加し1,488,994千円となりました。主な要因は、売上の増加等により現金及び預金が540,782千円、売掛金が33,776千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末と比べ41,547千円増加し193,967千円となりました。これは主に、ソフトウェア等の開発投資を行ったことにより、無形固定資産が39,311千円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は1,682,961千円となり、前事業年度末に比べ632,747千円増加いたしました。

（負債）

当第３四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末と比べ204,048千円増加し667,236千円となりました。これは主に、駐車場利用料等の決済の入金タイミングが変更されたことにより契約負債が117,253千円、売上増加に伴う仕入増加により未払金が55,532千円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べ14,220千円減少し48,235千円となりました。これは長期借入金が14,220千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は715,471千円となり、前事業年度末に比べ189,828千円増加いたしました。

（純資産）

当第３四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末と比べ442,919千円増加し967,490千円となりました。これは東京証券取引所スタンダード市場への新規上場に伴う新株発行による資本金99,111千円、資本剰余金99,111千円の増加、及び、四半期純利益244,696千円を計上したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2026年９月18日の「東京証券取引所スタンダード市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年12月31日)	当第３四半期会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	679,529	1,220,311
売掛金	188,681	222,458
貯蔵品	6,037	3,808
前払費用	31,225	53,295
その他	358	43
貸倒引当金	△8,038	△10,923
流動資産合計	897,794	1,488,994
固定資産		
有形固定資産	10,451	8,571
無形固定資産	22,300	61,612
投資その他の資産	119,667	123,784
固定資産合計	152,419	193,967
資産合計	1,050,213	1,682,961
負債の部		
流動負債		
未払金	344,166	399,698
1年内返済予定の長期借入金	20,540	18,960
未払費用	51,214	45,933
預り金	10,974	6,792
前受金	666	535
未払法人税等	3,780	46,215
契約負債	31,845	149,099
流動負債合計	463,187	667,236
固定負債		
長期借入金	49,180	34,960
資産除去債務	13,141	13,141
その他	133	133
固定負債合計	62,455	48,235
負債合計	525,643	715,471
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	199,111
資本剰余金	1,900,051	1,999,163
利益剰余金	△1,475,480	△1,230,784
株主資本合計	524,570	967,490
純資産合計	524,570	967,490
負債純資産合計	1,050,213	1,682,961

（２）四半期損益計算書

第３四半期累計期間

（単位：千円）

	当第３四半期累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	3,279,495
売上原価	1,606,058
売上総利益	1,673,436
販売費及び一般管理費	1,391,801
営業利益	281,635
営業外収益	
受取利息	1,837
ポイント利用収入	646
補助金収入	5,212
営業債務消滅益	630
その他	389
営業外収益合計	8,717
営業外費用	
支払利息	249
固定資産圧縮損	2,082
その他	0
営業外費用合計	2,331
経常利益	288,020
税引前四半期純利益	288,020
法人税、住民税及び事業税	46,497
法人税等調整額	△3,172
法人税等合計	43,324
四半期純利益	244,696

（３）四半期財務諸表に関する注記事項

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年９月18日付で東京証券取引所スタンダード市場に上場いたしました。上場にあたり、2026年９月17日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式378,000株の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ99,111千円増加しております。この結果、当第３四半期会計期間末において、資本金が199,111千円、資本剰余金が1,999,163千円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は、アキッパ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第３四半期累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	6,690千円